



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 ダイコク電機株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,665	△1.5	3,603	70.1	3,725	80.2	2,162	100.9
24年3月期第2四半期	28,100	70.2	2,118	245.7	2,067	203.1	1,076	346.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,165百万円 (98.9%) 24年3月期第2四半期 1,088百万円 (364.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	146.30	—
24年3月期第2四半期	72.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	52,490	28,733	54.7
24年3月期	49,087	27,113	55.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 28,733百万円 24年3月期 27,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	18.9	5,000	41.8	5,000	41.2	2,700	62.3	182.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) DIXEO株式会社
(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	14,783,900 株	24年3月期	14,783,900 株
25年3月期2Q	388 株	24年3月期	334 株
25年3月期2Q	14,783,545 株	24年3月期2Q	14,783,585 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかに持ち直しつつありましたが、欧州や中国における不透明な経済情勢を背景とした世界景気のさらなる下振れにより、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールでは、パチスロ遊技機は引き続き好調に推移しています。パチンコ遊技機では、当連結会計年度より日本遊技機工業組合の新内規に対応してゲーム性の幅が広がった遊技機が投入されました。なお、警察庁生活安全局保安課より7月に「広告・宣伝等の適正化の徹底について」の通達が発出され、従来からの広告、営業等について見直される動きが広がっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ホールコンピュータ「CⅡ」との連動による機能面等が強化された新製品CRユニット「VEGASIA」や、ファン向け情報公開機器等の販売を推進しました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」に向けた企画開発活動や環境対応をテーマとした研究開発への取組みを強化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高276億65百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益36億3百万円（同70.1%増）、経常利益37億25百万円（同80.2%増）、四半期純利益21億62百万円（同100.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、MIRIGATEネットワークを活用したホール支援サービス「CⅡスタンダード」の一層の充実と拡大を強化しました。また、4月に発売したCRユニット「VEGASIA」は、ホール店舗システムとの一体化による機能性の向上が高く評価され、台毎データ表示機「BiGMO」及び呼出ランプ「IL-X」は、多様な遊技機の特徴をファンに分かりやすく表示する先進性が市場に受け入れられ、販売が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は167億24百万円（前年同期比44.8%増）、セグメント利益は40億30百万円（同128.2%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、ソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当事業の売上高は109億47百万円（前年同期比33.9%減）、セグメント利益は5億49百万円（同58.6%減）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現預金の減少及び減価償却による固定資産の減少がありました。前第4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期連結会計期間において売上が好調に推移したことにより売上債権が増加したこと、当第3四半期以降販売予定の在庫が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ34億2百万円増加の524億90百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、有利子負債の圧縮に伴う借入金の減少はありましたが、仕入債務及び未払法人税等の増加により、前連結会計年度末に比べ17億83百万円増加の237億56百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、営業成績が好調に推移したことによる利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ16億19百万円増加の287億33百万円となり、自己資本比率は54.7%（前連結会計年度末比0.4ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表いたしました通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。詳細につきましては平成24年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	55,000	4,000	4,000	2,300	155.57円
今回修正予想(B)	56,000	5,000	5,000	2,700	182.63円
増減額(B-A)	1,000	1,000	1,000	400	—
増減率(%)	1.8	25.0	25.0	17.4	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	47,096	3,525	3,541	1,663	112.50円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったDIXEO株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併を行ったことにより当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、連結子会社であったDO株式会社は、株式譲渡により第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。また、持分法適用関連会社であった株式会社ラピスは、株式譲渡により第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,755,511	13,221,961
受取手形及び売掛金	※2 8,347,971	※2 12,547,223
商品及び製品	3,904,774	6,030,471
仕掛品	99,838	18,897
原材料及び貯蔵品	2,115,618	2,903,217
繰延税金資産	53,804	220,355
その他	695,269	864,692
貸倒引当金	△56,051	△56,596
流動資産合計	31,916,735	35,750,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,396,275	4,211,495
土地	4,294,795	4,228,792
その他（純額）	1,298,795	1,200,011
有形固定資産合計	9,989,865	9,640,300
無形固定資産		
ソフトウェア	1,673,108	1,478,948
その他	136,968	136,241
無形固定資産合計	1,810,076	1,615,190
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,221,250	2,251,959
投資不動産（純額）	879,029	978,389
長期預金	600,000	600,000
その他	1,956,213	1,922,676
貸倒引当金	△285,767	△268,514
投資その他の資産合計	5,370,725	5,484,510
固定資産合計	17,170,668	16,740,000
資産合計	49,087,404	52,490,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 10,360,901	※2 17,526,202
短期借入金	5,825,000	—
1年内返済予定の長期借入金	400,000	399,933
未払法人税等	837,190	1,699,399
役員賞与引当金	112,857	179,557
その他	2,370,177	2,022,478
流動負債合計	19,906,126	21,827,571
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,100,066
退職給付引当金	180,814	211,391
役員退職慰労引当金	338,679	355,398
その他	248,053	262,512
固定負債合計	2,067,548	1,929,369
負債合計	21,973,674	23,756,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	25,667,938	27,376,054
自己株式	△642	△716
株主資本合計	27,021,304	28,729,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,943	3,935
その他の包括利益累計額合計	4,943	3,935
少数株主持分	87,481	—
純資産合計	27,113,729	28,733,282
負債純資産合計	49,087,404	52,490,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	28,100,878	27,665,742
売上原価	18,988,379	18,557,574
売上総利益	9,112,499	9,108,168
延払販売未実現利益戻入	925	9,188
延払販売未実現利益控除	—	24,005
差引売上総利益	9,113,424	9,093,350
販売費及び一般管理費	※ 6,995,170	※ 5,490,263
営業利益	2,118,253	3,603,087
営業外収益		
受取利息	6,259	5,757
受取配当金	5,458	6,035
不動産賃貸料	36,926	36,431
その他	52,016	117,237
営業外収益合計	100,660	165,460
営業外費用		
支払利息	25,051	13,510
支払手数料	102,000	—
その他	24,541	29,496
営業外費用合計	151,593	43,007
経常利益	2,067,320	3,725,541
特別利益		
固定資産売却益	1,896	840
関係会社株式売却益	—	40,630
負ののれん発生益	—	2,685
その他	—	114
特別利益合計	1,896	44,270
特別損失		
固定資産売却損	9,759	—
固定資産除却損	72,036	2,031
減損損失	—	103,136
その他	—	15,130
特別損失合計	81,795	120,298
税金等調整前四半期純利益	1,987,422	3,649,513
法人税、住民税及び事業税	1,040,349	1,684,008
法人税等調整額	△141,028	△200,594
法人税等合計	899,320	1,483,413
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088,101	2,166,100
少数株主利益	11,459	3,313
四半期純利益	1,076,641	2,162,786

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088,101	2,166,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176	△1,007
その他の包括利益合計	176	△1,007
四半期包括利益	1,088,277	2,165,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,076,818	2,161,779
少数株主に係る四半期包括利益	11,459	3,313

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,552,212	16,548,666	28,100,878	—	28,100,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,564	3,455	5,020	△5,020	—
計	11,553,777	16,552,121	28,105,898	△5,020	28,100,878
セグメント利益又は損失(△)	1,765,782	1,325,334	3,091,116	△972,862	2,118,253

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△972,862千円には、セグメント間取引消去8,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△981,063千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,718,363	10,947,379	27,665,742	—	27,665,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,383	612	6,995	△6,995	—
計	16,724,746	10,947,991	27,672,738	△6,995	27,665,742
セグメント利益又は損失(△)	4,030,313	549,108	4,579,422	△976,334	3,603,087

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△976,334千円には、セグメント間取引消去△854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△975,480千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「情報システム事業」、「制御システム事業」及び「アミューズメントコンテンツ事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、「情報システム事業」及び「制御システム事業」の2事業に変更しております。

この組織変更は、遊技機開発においてゲーム要素を更に強化することを目的としたものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。